

建物を持続的に長期に活用することが求められています。そのためには、用途変更を容易に行えるように整備する必要がありますが、進行していない状況です。建物に付加価値を付け再生し成功している例も見受けられます。

そこで、成功例では付加価値をどのようにつけているのか、成功しなかった例から、用途変更を阻害している要因、確認申請を取り直すかどうか、既存不適格の扱い、安全性の確保、経済的効果等々、設計に手間が掛かる等の問題をどのようにクリアすればよいか、施主、設計者、行政の専門家の立場から議論を行います。



報告会 & シンポジウム ストック再生活用のための手法

－用途変更の課題を解決する－

プログラム

[報告] 18:00 - 18:10

建築物の用途変更に関する近畿支部研究 / これまでの取組みと今後の展開

藤本 佳子 (千里金蘭大学名誉教授・マンション管理研究所・近畿支部建築経済部会主査)

[基調講演] 18:10 - 18:50

リファイニング建築にできること

青木 茂氏 (首都大学東京 戦略研究センター教授・青木茂建築工房主宰)

[パネルディスカッション] 19:00 - 20:30

ストック再生活用のための手法 －用途変更の課題を解決する－

パネリスト

- | | | | |
|--------|--------|---------------------|----------------|
| 1. 実務家 | 枇杷 健一氏 | (Arts & Crafts 取締役) | － 実務的な企画者の立場から |
| 2. 所有者 | 生駒 信夫氏 | (生駒ビルジングオーナー) | － 所有者の立場から |
| 3. 設計者 | 高草大次郎氏 | (高草大次郎建築設計事務所代表) | － 実例から |
| 4. 大阪府 | 横内 伸幸氏 | (大阪府住宅まちづくり部建築指導室) | － 法的問題点から |
| 5. 建築家 | 青木 茂氏 | (前 掲) | － リファイニング建築から |

コメンテーター 横田 隆司 (大阪大学大学院教授・日本建築学会近畿支部支部長)

コーディネーター 藤本 佳子 (前 掲)

司会 飯田 匡 (大阪大学大学院講師)

副司会 (含む記録) 河野 学 (前大阪府立工業専門学校講師)

日時 平成24年7月27日(金) 18:00 ~ 20:30

(開場 17:50)

会場 大阪市立大学 文化交流センター大ホール

(大阪市北区梅田1-2 大阪駅前第2ビル 6階)

■定員 120名 (申し込み先着順)

■参加費 主催・後援団体会員 2,000 円

会員外 3,000 円

学生 1,000 円

※1 本会会員、後援団体会員の方は、受付で会員証を提示してください。

※2 学生の方は、受付で学生証を提示してください。

※3 会員証、学生証を提示されない方は、会員外の参加費となります。

※4 参加費には資料代を含みます。

[特記] 当日、希望者に報告書 (3,000円/冊(予価)) を頒布します。

■申込方法

当支部ホームページから、または「ストック再生活用参加」と明記し、氏名、所属、住所、電話番号、主催・後援の団体名と会員番号などを記入してE-mail、FAXにてお申し込み下さい。定員になり次第締め切ります。

■申込先

日本建築学会近畿支部事務局

E-mail: ajj-kinki@kfd.biglobe.ne.jp

FAX: (06) 6443-3144

TEL: (06) 6443-0538

URL: <http://kinki.ajj.or.jp/>



大阪市立大学
梅田サテライト

主催：日本建築学会近畿支部 同支部建築経済部会

後援：日本マンション学会関西支部、都市住宅学会関西支部、不動産協会関西支部、大阪ビルディング協会、日本マンション管理士会連合会、マンション管理センター大阪支部、日本建築協会、近畿建築士会協議会、日本建築家協会近畿支部、建築士事務所協会近畿ブロック協議会